

先端研究施設共用促進事業

「安定同位元素イメージング技術による産業イノベーション」利用成果報告書

北海道大学 創成研究機構長 殿

下記の通り、利用成果を報告します。

利用者名	旭硝子株式会社			
代表者	氏名	鈴木 俊夫	役職	主席
	所属部署	中央研究所分析科学技術ファンクション		
	所在地	〒221-8755 神奈川県横浜市神奈川区羽沢町 1150 番地		
	電話番号		FAX 番号	
	メール			
連絡担当者	氏名	鈴木 俊夫	役職	主席
	所属部署	中央研究所分析科学技術ファンクション		
	所在地	〒221-8755 神奈川県横浜市神奈川区羽沢町 1150 番地		
	電話番号		FAX 番号	
	メール			
利用課題名	各種ガラスにおける面内組成分布の詳細解析			
利用施設名	北海道大学 同位体顕微鏡システム			
利用期間	平成 24 年 5 月 1 日 ~ 平成 25 年 3 月 31 日			
	<input type="checkbox"/> 報告書公開の延期を希望する。(平成 ____ 年 ____ 月まで)			

●利用成果

【利用の目的・内容】 異分野の方にも理解できるよう簡潔に記述してください。

ガラス中軽元素の濃度ムラが製品品質に影響するため、同位体顕微鏡によるイメージング分析を実施し、対策指針を得たい。

【成果の概要】

ガラス表面における組成分布解析を実施した。他の分析手法では確認できなかった成分について、初めて組成変化を捉えることに成功した。これより、ガラス組成の変動現象および物性との相関理解が大きく進展した。

【社会・経済への波及効果の見通し】 研究成果によってもたらされる知的資産の形成、新技術の創製などを記述してください。

ガラス面内における組成分布の様子が明らかになったため、ガラス製造改善指針となった。

受付日	平成 25 年 4 月 8 日	受付者	阿部
-----	-----------------	-----	----